

3 浄水場のしくみ

とよかわ げじょうしゅすいじょう く どうすいかん おだかのじょうすいじょう ちやくすい
 豊川の水は、下条取水場から汲み上げられ、導水管を通り小鷹野浄水場の着水
 井へ着きます。

それから、ろ過池とよばれる大きなプールで、川の水をゆっくり砂の層に通し(1日
 に5m進む速さ)、微生物(小さな生き物)の力をかりながら、細かいゴミや水中に溶
 け込んでいる汚れとばい菌を取り除いています。このようにゆっくりした速さでろ過す
 る方式を緩速ろ過方式といいます。

そして、緩速ろ過方式できれいになった水は消毒されて水道水になります。



4 水道水をとどけるしくみ

浄水場じょうすいじょうでつくられた水道水は、大きな送水管そうすいかんを通して、水にいきおいをつけるためにいったん山の高い所高い所（約60m）にある配水池はいすいちという大きなタンクたに溜められます。豊橋市内には7つの配水池はいすいちがあり、小学校のプールはいぶんで約155杯分（63,500 m³）もの水を溜めることができます。

配水池はいすいちから出た水は、配水管はいすいかんを通してみなさんの家や学校、工場などにとどきます。

豊橋市内の配水管はいすいかんを全部つなぐと約2,100kmで、新幹線やくで青森から鹿児島までと同じぐらきょりいの距離になります。

